

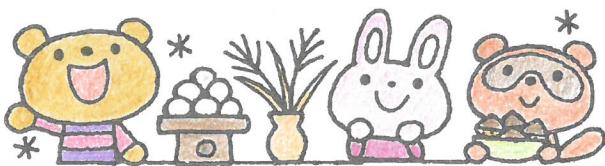
わたぼうし つうしん

令和3年9月号
(No. 243)

わたぼうし
病児保育室
塙田こども医院
(保育室専用電話)
025-544-7779

日中は暑いのに朝晩は涼しかったり…
鳴いている虫の声が変わったり…と
少しずつ秋の気配を感じるようになりましたね。

季節の変わり目、そして新学期がスタートし
体調を崩しやすい時期です。
いつもと違うな…と感じたら、無理をせず
休養するを心がけていきましょう。



おしらせ

9/7(火)からインフルエンザワクチンの
予約が始まります。

10/13(月)より接種開始です。
感染予防と重症化を防ぐためにも
ぜひ早めの接種をおすすめします。

引き続き、手洗い、うがいも
しっかりしていきましょう!!

もうすぐ秋。やっと過ごしやすい日がやってきますね。

でも、世の中は大変です。RSウイルスが大流行し、今はヘルパンギーナが代わって流行中。

そして新型コロナの脅威が迫ってきています。デルタ株は子どもにも感染します。

大人が家庭に持ち込むことがきっかけです。同居の方々もみな感染予防をしっかりと行ってください。風邪かなと思ったら仕事は休み、家族に移さないよう気をつけてください。

(院長)

おねがい

新型コロナウイルス感染予防
対策のため、入室時の受け入れ
方法が変更になります。
詳細につきましては、別紙を
ご覧ください。

ご理解、ご協力のほど
よろしくお原意い致します。

先月のまとめ

利用者数(21日間) 80名 《一日あたり7~27名》
(うち上越市病児保育事業対象 352名) 《平均16.8名》

現在の登録者数 1160名

入室初日の病状: 急性期 80件 回復期 15件

RSウイルス	感冒	ヘルパンギーナ
アデノウイルス感染症	感冒性下痢症	胃腸炎
感染性胃腸炎	頸部リンパ節炎	急性胃腸炎
中耳炎	急性上気道炎	急性扁桃炎
喘息性気管支炎	下痢症	周期性発熱
ワクチン副反応		

新型コロナウイルスを予防しながら家族やお友達と

元気すごそう!!

手を洗おう!

ごはんの前、トイレの後、

外から帰ったら、せっけんで。

20秒ほど手洗いをしよう!

きらきらぼしやハッピーバースデーのうたを
歌ながら手洗いをすると約20秒です。



マスクをしよう!

大きなお子さんはできるだけ

マスクをはすこましょ。

汗やつば、鼻水などで汚れたら、

キレイなものに交換を。

わたっぽうレジ利用の際は

替えのマスクの用意をお願いします。



換気をしよう!

各部屋、とくに人が集まる



リビングなどでは、こまめに空気の入れ替えをしましょう。

30分に1回の換気が効果的です!

お外の風がニ古ちいい季節ですが、こまめな換気を。

みんなで
力をあわせよう!!



今後の新型コロナ感染症に対する対応

2021年9月1日

- 新型コロナ感染症が全国で「第5波」を迎えていますが、これまでにない大きな規模になり、都会から地方へ拡大しています。すでにデルタ株に置き換わり、これまでと違い、子どもたちの感染も多くなってきました。
- 当地ではまだごく少数の発生ですが、今後どのようになるか、予断を許しません。十分に注意していくください。
- まずは大人の方が感染しないよう予防策をしっかりしていてください。ワクチンは必ず受けてください。職場や会食を通じての感染が多く、注意が必要です。風邪症状があればコロナ感染も疑って行動してください。とくに発熱があれば仕事を休み、受診し、必要に応じて検査を受けてください。
- 子どもたちに感染予防対策をおこなうことは年齢によってはむずかしいのですが、可能な範囲で実施してください。
- 今後、当地でも市中感染が拡がってきた場合は、当施設も利用制限などの対応を考えています。

- 具体的には、もし園での発生（園児、保育士、職員など）があれば、その園に所属するお子さんはお預かりできません（すでに市の指導により実施中）。
- 親や同居する成人の方でコロナが疑われる状況（職場での流行など）があったり、発熱などの症状が有る場合には、その方がPCR検査で陰性など、コロナでないと推測できるようならお預かりできるでしょう。
- さらに流行のステージが進行してくると、診断名が明確になっていないお子さんについては受入時に先に抗原検査を実施し、陰性のお子さんのみをお預かりすることも行います（すでに8月末から実施中）。
- また、地域全体が昨年のような「緊急事態宣言」が出され、登園・登校が自粛される事態になれば、病児保育室を一時的に閉鎖することも必要になるかもしれません（これは市の指導に従っておこないます）。
- インフルエンザは昨年はまったく流行しなかったのですが、今季がどうなるか、分かりません。コロナと同時にインフルエンザが流行することもあるかもしれません。ぜひ、子どもも大人もインフルエンザワクチンの接種を受けておいてください。
- その時々の状況で臨機応変に対応していきますので、よろしくお願いします。